

親愛なる里親の会の皆さま

わたしたちの主、救い主なるイエス・キリストの尊い御名において、皆さまにご挨拶申し上げます。

2018年3月10日、わたしたちの学校の恒例の期末テストの結果が発表され、テストの成績、出席日数、課外活動において最高点をとった子どもたちの表彰が行われました。

子どもたちが、自分の成績が認められて嬉しいのは当然なのですが、その子どもたち以上に保護者の方が嬉しそうにしていました。彼らの多くがわざわざわたしの所までやってきて、子どもたちの成長について話をしてくれました。その会話の中から、彼らが、いかにプリ・キンダーガルテンスクールから受けた支援を感謝しているかが伝わってきました。その中で、わたしの心を深くとらえた保護者の言葉がありました。それは、日本のクリスチャンを含む多くの人たちが自分たちの子どものために祈ってくれているので、子どもたちだけでなく家族もまた祝福を受けているというものでした。これには大変驚かされました。なぜならわたしに話しかけてくれた彼らは全員ヒンズー教徒だったからです。

このことは、宗教の違いがありながらも、この学校の保護者の多くがイエスさまと祈りの力を信じているということを感じさせてくれました。保護者たちからの何と素晴らしい証でしょうか。この学校を通して信仰の種が蒔かれ、今や、聖霊が彼らに語りかけ、イエスさまのもとに導いておられる。神さまへの感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。学校開設からまだそれほど期間が経っていない中であって、わたしたちの献身と努力がすでに用いられてプリ・キンダーガルテンスクールが良い方向へと前進できていることを確信させられ嬉しく思っています。

インドでは暗黙の了解としてクリスチャンは公然と伝道することはできず、教会生活を送る中でも嫌がらせを受けることが多々あります。その意味で、わたしたちの働きが、キリストの愛を他者と分かち合うのに、最も可能性のある効果的な方法の一つになっていることを嬉しく思います。インドでは外国の宣教師が来印して働くことは許されていません。しかしこのような状況においても神さまの働きは、この国でも広がり続けています。それはひとえに国内外のクリスチャンの祈りと支援によるものです。

日本で、里親の会に加わることは、インドでの神の働きにかかわることを意味します。皆さんの祈りと経済的支援によって、プリ・キンダーガルテンスクールは運営され、インドの貧しく助けを必要としている子どもたちを支え、キリスト教の特性を大切にした教育を提供しています。ですから里親になることで、皆さんはインドにおいてキリストの愛を広める宣教師のような働きをすることになります。里親になるということは、言い方を変えれば、インドでキリストの宣教のために働くということの意味します。里親の皆さんがキリストの弟子として主と主の働きのために献身してくださっていることを

感謝しています。里親の皆さんの祈りと犠牲による献身が、引き続き良い結果をもたらす、この異国において多くの方々が救われることを願っています。

親愛なる里親の皆さん、どうぞプリ・キンダーガルテンスクールのことを他の方々にもお伝えください。そしてインドにおける宣教活動に加わってくださるようと呼びかけてください。お願いいたします。主が皆さんと同様に、その方々をも祝福してください。この学校は発展することで、インドにおけるさらに多くの社会的・経済的に恵まれない最貧の子どもたちに仕えることができます。

プリ・キンダーガルテンスクールは、無事一年目を終えることができ、この短い間にもわたしたちの学校は当初想定していた以上の成果をあげることができた大変喜んでいきます。わたしたちの主、救い主イエス・キリストの力に対する信仰と信頼が、この学校のスタートからわたしたちが努力し続けてきたことを達成するための原動力となりました。

里親の皆さんは、心からこの働きに加わってくださっていますが、大多数の方々は、まだプリ・キンダーガルテンスクールを直接見たことがありません。しかしながら本当に嬉しいことに、2018年2月9日～13日に松本素代美さんと小林洋一先生をリーダーとする11名の里親の会のグループが、プリ・キンダーガルテンスクールを訪問してくださいました。その内の何人かは、以前にもプリ子どもの家を訪問して、その働きを見てくださっていましたが、プリ・キンダーガルテンスクールには全員初めての訪問となりました。

グループの皆さんには、2月10日に行われたプリ・キンダーガルテンスクールの開校式にも出席していただきました。またその滞在の間に何度か学校を訪問していただき、子どもたちと楽しい時を過ごしていただきました。一緒に遊び、ゲームや振り付けつきの歌や、身体のケアや歯磨きなどの指導もしていただきました。また里親の皆さんは沢山のプレゼントを携えてきてくださり、子どもたちは大喜びでした。子どもたちは、里親の皆さんが大好きになり、懐かしがっています。

2月11日（日）の午前には、プリバプテスト教会の教会学校で振り付けつきの讃美歌を指導してくださり、エイカーズ愛先生が証をしてくださいました。また皆さんは、午後の日曜礼拝にも参加して日本の讃美歌を歌ってくださり、小林洋一先生が宣教をしてくださいました。

2月12日の午後は、農村の教会の様子を知っていただくために里親の皆さんとアシュラヤプール（Ashrayapur）バプテスト教会を訪ねました。その教会の皆さんは伝統的な仕方で、里親の皆さんを迎え、教会の入口までエスコートした後、牧師と長老が花束をもって歓迎してくれました。この時も皆さんは日本語の振り付けつきの讃美歌を会衆に教えてくださいました。この教会は、プリから45km離れたところにあります。

今回訪ねてくださった里親の皆さんは、これまで捧げてきた祈りと献金が、具体的にこのプリ・キンダーガルテンスクールで用いられ、インドの貧しく助けを必要とする子ども

もたちの多方面にわたる発展ために有効に用いられていることを直に見ることができて喜ばれたと思います。将来、さらに多くの里親の皆さんが、わたしたちの学校を訪ねてくださり、わたしたちと声を一つにして、「主よ、あなたがこのような素晴らしい業をプリ・キンダーガルテンスクールを通して行ってくださり、またこの学校の一端を担う機会をわれわれに備えてくださいました。それにより、私たちは、インドの貧しく助けを必要とする子どもたちに愛をもって仕えることができます。主よ、感謝します」と唱えることができますようにと願います。

ここ数ヶ月で多くのプログラムと取り組みが行われましたので、以下にご紹介いたします。

## 運動会

恒例の、第一回プリ・キンダーガルテンスクール運動会は、2017年12月7日に行われました。運動会では様々な競技が行われ、子どもたちとスタッフだけでなく保護者にも参加していただきました。賞品の授与は、主賓としてお招きしたプリで著名なソーシャルワーカーであるミタリ・ダスグプタ (Mrs. Mitali Dasgupta) さんにしていただきました。

## 恒例の遠足

第一回の恒例の遠足は、2018年1月20日に行われました。予定ではプリの町の外に行く予定でしたが、道路の安全確保が難しいということで、ナオミビルディングの敷地への遠足となりました。朝ご飯から始まり、昼食後まで様々な屋外ゲームや活動を子どもたちは目一杯楽しみ、喜びに満たされていました。

## 開校式

プリ・キンダーガルテンスクールは2017年4月から始動していましたが、2018年2月10日に正式な開校式を開くために準備をしてきました。日本の里親の会から、松本素代美さんと小林洋一先生を筆頭に11名の里親の皆さんが、この式に出席してくださいました。開校式セレモニーの後に同敷地内で保護者を含む350名の町の方々をお迎えして祝会が持たれました。松本素代美さんが主賓としてスピーチをしてくださり、祝会に華を添えてくださいました。

素代美さんは、この学校の働きがインドの助けを必要としている子どもたちの益となっていることを賞賛してくださいました。また同時に日本の里親の皆さんの祈りと献金によりプリのこの学校の働きが始められ、まだ一度も会ったことのないインドの子どもたちのために、里親の皆さんがいかに大きな愛を注ぎ出してくださったかにも言及されました。この祝会の進行は、校長のリタ・バナージー先生 (Mrs. Rita Banerjee) がして

くださいました。祝会では子どもたちが練習してきたインドの歌と踊りを披露しました。また日本からの里親の皆さんも日本語で讃美をしてくださいました。

今年の4月でプリ・キンダーガルテンスクールが1周年を迎えるということは既にお知らせしましたが、この学校がスタートしてからここまで発展を遂げることができたのは、わたしたちにとっても大きな成果です。この町には、高い学費を払えばよい教育を受けることのできる富裕層向けの幼稚園が既にあります。わたしたちの願いは、このインドにおいて福音を分かち合うために、最善を尽くし、このような幼稚園にも負けないような、ベストクオリティの教育を、恵まれない貧しい子どもたちに提供することでもあります。

この願いを達成するためにはさらに多くの里親の方々が加わり、その方々のお祈りとお支えが必要です。皆さんの周りに里親になることや、学校のために継続的ではない、1回限りの献金をしたいという方がおられましたら、どうぞ松本素代美さんに連絡をお願いします。住所は〒852-8132 長崎市扇町 28-18 電話は 090-7925-3703 です。どうぞわたしたちのことをお祈りにおぼえてください。神さまの祝福が皆さんとご家族の上にありますように。

ディレクター  
S.K.モハンティ

### 連絡先

住所: Christian Organisation for Development and Education.

Naomi Building, Station Road,

Puri 752002, Odish, INDIA.

電話: +91-6752-224078

携帯: +91-8895294918

メール: childrenshomepuri9@gmail.com

**childrenshomepuri@yahoo.co.in**

(訳: エイカーズ愛)

里親の皆様

日頃よりのお祈りとお支えを心より感謝いたします。

プリからニュースレターが届きました。

プリの現状は尚厳しいものがありますが、子どもたちは元気です。

5~6歳児の着替えのリクエストが来ています。

お心にかけていただけると感謝です。

松本素代美